

相生山緑地 オアシスの森くらぶ ニュースレター27号 2006.5.27発行

発行 オアシスの森くらぶ
編集委員会
発行人 大館 学
編集長 近藤 真史

定例活動／3月25日(土)

「第8回 萌木まつり ～森の恵みを食す～」

近藤 真史

"春うらら"という表現がぴったりの
天気にも恵まれたこの日、会員はじめツ
リーハガーズのみなさん、通りすがり
の方々の飛び入りなど50名以上の参加
のもと、8回目となる「萌木(もえぎ)
まつり」を開催しました。

会員同士や森づくりに関わる他団体
との交流を目的とするこのイベントは、
2年前の第6回から"森の恵みを食す"
をテーマに、前半は竹切りなどの保全
活動を行い、後半は森で採れた食材や
竹炭などを使い、春の味覚を味わいな
がら親睦を深めていくという一連の流
れが定着しつつあります。

前半の竹切りは、山根口の竹林で行
いました。1時間ほどの短い時間では
したが、いつもより人数も多く、すっか
りきれいになりました。切った竹の一部
を集いの広場に持ち帰り、器やお箸
などを作りました。広場では、ほかに
豚汁を作る人、食材を焼くための炭火
を起こす人、ツリーハガーズの木登り
を楽しみながら食事の準備が整うのを
待っている人(それって私だけ?)・・・



▶コナラの木の上から見た集いの広場

みんなそれぞれの役割分担を着々とこ
なし、後半の親睦会に突入です。

親睦会のメニューは、豚汁、木の芽
田楽、焼きタケノコ、焼きシイタケ、
焼きもち、竹卵焼き等々。



▲たわわに実ったシイタケ

中でもタケノコとシイタケは、相生
山産の採れ立て新鮮素材。タケノコは
時期がやや早く、あまり量がなかった
ため、みんな我先にと奪い合い・・・
ということはなかったけれど、味見程
度の量にちょっと不完全燃焼気味かも。
(もしがしたら、一口も食べていない
人もいたかな?) 一方、シイタケは
昨年2月に菌打ちしたものが早くもた
わわに実り、形の良いものは焼きシイ
タケに、そうでないものは細かく刻ん



▲森の恵みの味わいに舌鼓

で豚汁の具にし、森の恵みとして堪能
させてもらいました。

食事が一段落した後は、蛭川さんの
オカリナコンサートや辻本さんの竹蹴
鞠作り教室なども開かれ、春先ののど
かな一日を楽しく過ごしました。

最後に、森の恵みに感謝しつつ一
“ご馳走さまでした!”



▲調理しながら焼きたてをほおぼる
人たち

花博記念協会より助成金交付が決定!

平成18年度花博記念協会助成事業に
応募し、助成金がいただけることにな
りました。事業名は「みんなでやろま
い"伐って育てる雑木林公園づくり"」
で、助成金は50万円です。昨年5月の
道具小屋放火事件による小屋全焼で、
くらぶ所有の道具類のほとんどを消失
し活動にも支障をきたすほどでしたが、
この度の助成でテントや草刈機、スコ

ップからノコギリまで購入する事がで
きます。また、この備品費のほかに雑
木林塾の講師謝金も認められており、
新たな活動展開が期待できます。

2月にお仕事を休んで、二次審査で
大阪までプレゼンテーションしてきた
甲斐があったということでしょうか。

花博記念協会さん、ほんまにありが
とさん! (小池 敦夫)

定例活動／1月28日(土) 「ツツジの園づくり植生管理」

大館 学

この日の活動は、見晴らしの丘東でツツジの園を再生させるべく特別参加の豊田高専の二人を含めて10数人で植生管理作業に取り組みました。

作業に先立って昨年作業を行って見事なツツジの園となった道路予定地北の指標木で葉芽・花芽の数を確認しました。芽の数の増加傾向はみてとれるものの、遊歩道脇の木であったため、一部枝が剪定されてしまうなど想定外の事件もありました。



▲葉芽・花芽の数を数えるようす

ツツジは太陽が大好き、常緑の木々を適度に間引くことで光環境が改善され、ツツジは見事に花をつけることになるのです。作業に移り、小さなツツジの木を見つけてはその付近のソヨゴ

やヒサカキを間引いていきます。時々通り過ぎる人に作業の意義を話し、「春を楽しみにしてください。昨年作業をしたところは見事な開花でしたよ。」と説明すると、かなりの人がそのことを知っていて普段の作業が評価されていることを実感しました。

汗ばむ作業を終え、昼は野浪さんが用意してくれた餅をみんなで楽しみました。竹炭で焼く餅は、しょうゆの焦げる香りが食欲を刺激しおにぎりにプラス一人で3～4個平らげ、作業で消費したエネルギーをはるかに上回るありさま。さらに野浪さんから真空パックの御餅をお土産にもらいみんなにっこり。



▲昼には野浪さん自家製のお餅を堪能。



▲満開時のツツジの園（4月下旬）

午後は、それぞれ場所を変え、植生管理活動に取り組みました。私は散策エリア入り口付近の山桜の日照をさえぎる竹の除伐に取り組みました。山桜の枝ぶりを邪魔するモウソウ竹を合わせて6本切り倒し、ついでにその竹でビートルアパートの竹を交換し落ち葉を補充しました。

植生管理活動は作業後に一日の内容が実感できるくらいの区域で行うのがいいです。今回作業した見晴らしの丘周辺はまだツツジの木がとても小さいので来年くらいにならないとツツジ満開とはいかないかも知れませんが、少しずつでもこうした環境が改善されていき、皆さんに森を堪能していただけることを祈って今回の報告を終わります。

定例活動／2月25日(土) 「アカマツ林再生プロジェクト」

永田 修二

2002年から始まった「アカマツ林再生プロジェクト」も今回で5回目となりました。

暖かな日差しの中、オアシスの森の西側、足元の天白川や名駅の高層ビル群も見わたせる「プロジェクト林」に



▲アカマツ林再生の証として成長する実生苗

約20名が集まりました。

林床の実生苗もずいぶん成長したのもあり、回を重ねるたびにアカマツ林が着実に蘇ってきていることが実感できます。

常緑樹の除伐、林床の整備、チェーンソー部隊の枯れ松処理など、それぞれが分担しい汗をかきました。昨年の放火事件により熊手が焼失してしまったので、「ごーかき」ができなかったことが残念でした。

当日は、横浜舞岡公園のメンバーも参加され一緒に活動し、午後からは意見交換会も行いました。



▲作業中のようす



▲作業後、特別参加の横浜舞岡公園メンバーとの意見交換会

定例活動／4月22日(土)

「2006年度総会&竹林管理」

大館 学

例年4月はコミセンで総会を開催し、余った時間で森の散策や点検などをしていましたが、「気候のよい新緑の時期に森の管理活動をしなないのはもったいないね。」との意見から、今年はず作業をやってから後半にオアシスの森で総会という運びとなりました。

森は新芽の緑が鮮やかで、ミツバツツジは満開、おたまじゃくしの泳ぐトンボ池の脇にはカラタチの白い花にハナアブが舞う生き物の森、自然の豊かさを堪能できるよい季節です。

天気にも恵まれたこの日の作業は、山根口近くの竹林が斜面を登り南側の雑木林に侵入するのを防ぐ目的で、主に斜面地での竹の間引き作業を10数名で取り組みました。時節柄所々にモウソウの立派な筍が頭を出していましたが、数は少なく、竹林の手入れの不足を感じました。

切った竹は長さ2m位に切りそろえ近くに設置された「ご自由にお持ち帰りくださいコーナー」へ運びました。すぐに数組の親子がその竹を持って帰り、自然の産物に対する需要が結構あるのだと実感しました。

午前午後あわせて3時間以上の活動

で、部分的ではあるがかなりすっきりした風景となり、作業の達成感を味わうことができました。



▲竹林管理の作業の様子

《2006年度総会》

2時半過ぎから炭焼きの横のウッドデッキに場所を移し総会を開催しました。途中で帰った人を含めて総勢22人の参加の下で議事は進められました。

まず2005年度の活動報告と決算が承認され、2006年度活動計画と予算に移りました。今年度は花博協会からの「雑木林塾」活動への助成が予算の中の大半を占めることもあり、その内容についての質疑が多くなされました。さらに今回総会の特別議題でもある「緑のまちづくり活動に関する協定」(案)についての会員意見の集約に1時間以上の時間をかけ熱心な討議が続けられ



▲青空の下で、総会を開催。

ました。気がつけば4時を回っており暖かだった一日も終わりを迎えました。役員体制については3年で改選という暗黙のルールからあと1年現行のままていくこととなり、以下の方に引き続きお願いすることとしました。

【2006年度 役員】(全て留任)

- 会長／大館 学
- 副会長・運営委員長／真弓 浩二
- 書記／近藤 真史
- 会計／村田 英二
- 会計監査／小池 敦夫
- 副運営委員長／永田 修二
- 公園愛護会会長／近藤 真史

総会后、まだ明るいうちから一ツ山の某所に場所を移し、有志で総会の第二部ということで、今後の活動について更なる討議をしました。こちらの活動も昼の活動に負けない程長時間やっ

シリーズ『森の住人たち』⑭

～ヒヨドリ(鶉)～
いまや都市の鳥の代表



ヒヨドリ科 全長 27.5cm 環境

ゆっくり散策をしていると、さっと私を追い抜くものがいた。ヒヨドリだ。2m程前のはげノキに止まったかと思うと、ひょいと首を左に傾けた。くちばしでアオムシをくわえて飲み込んだ。上を向いたと思えば、今度は首を伸ばしてまたアオムシをついばんだ。1匹、2匹、3匹・・・とにかくすばやい。あつという間に12匹のアオムシを食べて飛び去った。その間おおよそ1分くらいだろうか。おみごと、拍手喝さいだ。

ヒヨドリは、「ヒーヨ、ヒーヨ」とか、「ピーヨ、ピーヨ」と鳴くことから名づけられた。体は灰褐色で頭から背中と喉は青灰色味がかった色をしている。翼や尾などは茶褐色。尾が長めで、波形を描いて飛ぶ姿は、遠くからでもや

全国の山地から低地・公園や住宅地など

すい。ヒヨドリは、かつては秋から冬にかけて都市部にやってきて冬を越す野鳥だった。春になると山野に戻って繁殖をしたものだという。雑食性と適応力で、今ではどこにでも住む。

探鳥会などでも、時折耳にする言葉がある。「なあ～んだ、ヒヨか・・・」と。どこにでもいるので、珍しくも、なんともないからだ。ではヒヨドリのすべてを知っているかといえば、そうではない。私自身もアオムシをすばやく何匹も見つけて口に運ぶ光景に出会ったのは、初めてである。見慣れた鳥も、さらにじっくり見れば、発見が多く楽しいものだ。

(文責 自然案内人 近藤 記子)

特別活動／2月14日(火) 「天白おやこ子育て広場」 出展

伊藤 晶子

「天白おやこ子育て広場」は、天白区及び周辺で子どもに関する活動を行っているグループ・団体のネットワーク「天白子ネット」が、天白区社会福祉協議会などの行政機関と協働で毎年夏と冬の2回開催しているイベントです。回を重ねる度に参加する親子や協力する団体も増えているようです。

当くらぶもこのネットワークの一団体として加入しており、小さな子どもたちにも自然の楽しさなどを伝えようと、今回はじめてブースを出展することにしました。



当日、少子化問題など心配することはない、と思えるほどの親子連れで会場（天白スポーツセンター体育館）が埋まりました。

当くらぶは、工作としては森さん特製の竹ゴマ、竹トンボ、ウサギバッジ、トンボバッジを並べました。また、森に興味を持ってもらえるようにと、ヒ

メボタルの壁絵づくり、リンゴの木の床絵づくりの共同作業に参加してもらうことにしました。

ヒメボタルの壁絵は、松葉さんが紙に素晴らしい竹林を描いてくださり、そこに各自がホタルを作って貼っていきます。ホタルはヒサカキの葉の先端に赤い折り紙を貼って目をかき、下端に黄色い折り紙を丸くくりぬいて貼り付けて出来上がりです。ヒサカキの葉のつやがえもいわれぬ雰囲気を出して、少し離れて見ると、本当にホタルが光っているように見えます。午前10時～12時の開会時間中に36匹のホタルが飛び、見事な壁絵が出来上がりました。

床絵づくりでは、押し葉にしたサクラ、アベマキ、モミジ、イチョウ等の落葉を用意すると、幼児たちが興味を示し、飽きずに貼りつけていました。

平日午前中の開催で、参加者も幼児とその母親がほとんどだったので、はじめは当くらぶは浮いてしまうのではないかと危惧しましたが、自然には幼



▲押し葉の床絵づくりに夢中の幼児たち

児をも惹きつける魅力があるのを発見しました。

主催者の人が、全ての材料を自然からまかなっているのはここだけですね、と感嘆しておられました。

● 会員募集中！ ●

このクラブは、相生山緑地オアシスの森を活動の場として、昆虫、鳥類を含めた、多様性のある森づくり、環境づくりなどのフィールドワークを行い、会員同士のふれあいや、オアシスの森を通じて地域の人の交流などを行う、楽しい集いです。

具体的な活動内容は

- ◆オアシスの森を訪れる人々に、自然観察の方法や楽しみ方を知ってもらえるよう案内する。
- ◆公園管理者と協力しながら、オアシスの森での植生管理作業を行う。
- ◆植物、野鳥や地形、地質、気象などの調査を行う。
- ◆柴刈り大会や自然観察会などのイベントを適宜行う。
- ◆その他、目的を達成するために必要な事業を行う。

○会費は年間1,500円（保険料含む）です。主に連絡、郵送費です。

○振り込み先（郵便局）
オアシスの森くらぶ 00860-7-33725
連絡は事務局までどうぞ

定例活動スケジュール

集いの広場
10時集合

6月24日(土) トンボ池周辺グレードアップ作戦・梅の収穫

トンボ池の周りに茂る雑草を刈り取る毎年恒例の作業。本格的な夏の到来の前に、オアシスの森の貴重な水辺をサッパリさせます。

7月22日(土) 雑木林塾「森の救急講習会」

8月26日(土) 雑木林塾「相生山の地形・地質・水系」

9月23日(土) 雑木林塾「雑木林の植生管理」

10月28日(土) 第8回 どんぐり祭り

ホームページ管理・作成 スタッフ 大募集!!

“森くらぶのホームページをもっと楽しみたい!” “定例活動には出られないけど、自宅でできることなら手伝えたい”等々、ホームページに興味のある方、是非ご一報を!!

【連絡先】

masashi_k@muf.biglobe.ne.jp (近藤)

情報センター

■参加申込みやお問合せなど

事務局
伊藤百寿人 052-895-8523
中島己治男 052-803-9534

■ホームページをご覧下さい

URL address : <http://f44.aaa.livedoor.jp/~oasis/index.html>

- ★ ニュースレター（本号）のカラー版（PDFファイル）がダウンロードできます。
- ★ 定例活動・特別活動の報告や予告（チラシ）を随時更新しています。